



「目的がその人をつくる」

校長 井上 雅子

あけましておめでとうございます。年の初めに能登の地震や羽田空港の事故など、不安な始まりではありましたが、本校の生徒については大きな怪我や病気はなく元気に登校できたことを嬉しく思います。今年は辰年、これまでの辰年では1964年アジア初の東京オリンピック、東海道新幹線開通、1988年青函トンネル、東京ドーム、瀬戸大橋など大型建造物のできた年、2000年地下鉄大江戸線開通、2012年東京スカイツリーの開業、山中伸弥教授がIPS細胞発見でノーベル賞受賞など、大きな出来事があった年と言えます。今年はどうなるのでしょうか？辰は龍であり、十二支の干支の中で唯一想像上の生き物ですが、変革や激動の象徴とされ、時代が動き、大きな出来事が起きたりと縁起の良い年と言われています。

昨年末に、ウォルト・ディズニーカンパニー創立100周年記念作品「ウィッシュ」が話題になりました。このお話は、自分にとって最も大切な願いを王様にささげることで、どんな願いも叶うとされるロサス王国が舞台。この王国に暮らす明るく前向きな17歳の少女アーシャが、邪悪な王様に立ち向かうお話です。人々は、願いを王様に

預けることで王様が願いを叶えてくれるのを信じて王に従っていますが、王様は全員の願いを叶えるわけではない、それを見抜いたアーシャが立ち上がり王様と戦い、願いを一人一人に返していきます。

さて今年の皆さんの願いは何でしょうか。願いは一人一人の心にあるべきもの、とりあげられるものでもなく、ましてや決して他の人に叶えてもらうものではない。そして願いは目標や目的と言ってもよいですが、それをもち続けることが生きる力になると映画は伝えてくれました。

さて年の初めに当たって「願いや目標、そして未来を変えるコツ」について有名な二人の心理学者、フロイトとアドラーがこう言っています。まずフロイトは「何か原因があって結果がある。」と考えます。つまり「問題となる原因を取り除けば結果が変わる、取り除かなければずっと変わらない。」という考え方です。私たちもこれはよく使う考え方です。成績が上がらなければ原因を探ろうとします。集中力が足りないからとか、ゲームばかりしてるからとか、時には部活動が忙しいからとか・・・その原因を取り除けば成績が上がるという考えになります。それに対してアドラーは「目的があって、その結果を創り出す」という考え方です。人間は多くの場合問題を何かのせい、または誰かのせいにする場合があります。それをアドラーの目的論は徹底してこのフロイトの論を否定します。「あなたは原因のせいにして甘えているだけだ」と。アドラーは「過去の原因にとらわれず、本当は自分がどうなりたいのか、どうしたいのか、今の自分の気持ちに向き合うことが大事だ」と言います。フロイトとアドラーどちらが正しいとか間違っているとか言う話ではありません。課題解決のために視点を変えた別々のアプローチなのです。フロイトは「原因を取り除く努力をして未来を変える」といい、アドラーは「目的が大事だ、目的がその人をつくり未来を変える」と言います。最初に話した映画のウィッシュの「願いや目標、目的が生きる力になる」というメッセージはアドラー心理学に通じます。さて年の初め、災害に苦しむ方たちに思いを寄せながらも、皆さんは一人一人しっかり目標、目的、願いをもち、それに向かっていくことで、夢や願い、目標を力にして、よりよい未来を作り出していきます。今年も全力で皆さんの未来を支えます。一緒に頑張りましょう。(3学期始業式より)



3学期始業式

■平和の語り部さん 穂坂晴子さんからお手紙をいただきました。

11月6日に全校生徒へお話しをいただいた平和学習の講師、穂坂晴子さんから、皆さんが書いた感想文へのお返事をいただきました。

(前略) 皆さんお一人お一人からの感想をいただき、びっくりしました。そして感動しました。自分のことばで丁寧に書いていただきました。「はじめて実体験の話聞いて戦争の悲惨さ、辛さ、過酷さを感じました」「他人事ではなく自分の身近なことだと思いました」「今起きている戦争のことを考えていきます」「テニアンのこと初めて知り、西東京の平和のリングのこと調べます」「これからも戦争や平和のことを考えていきます」などたくさんのことばがあり一人一人にお返事を書きたい思いでした。私にとっても宝物です。自分たちがこれからどうしたらいいのかもこの感想の中にヒントがあると思いました。本当にありがとうございました。私も頑張らなくてはいけませんよ！96歳の母にも、テニアンの先生にも伝えました。これからも皆さんには限りない夢があります。しっかり歴史や他の国のことも学んで、今のことも皆さんの眼でみて頑張ってください！何よりもかけがえのない命、毎日の日々を大切にしてください。お元気で！

■土曜授業（学校公開）

寒い中でしたが、多くの保護者の方が来てくださいました。生徒たちが、一生懸命まじめに学習に取り組む授業の様子を見ていただくことができました。1、2学期の終わりに、生徒の授業評価を実施しています。授業のわかりやすさ、工夫、タブレットの活用などの項目で、生徒が全ての教員の評価を行い、それをもとに全教員が研究授業を行い、授業改善につなげています。何かお気づきの点などありましたら、遠慮なく学校へお伝え下さいますようお願いいたします。



1、2年生は、学校公開の午後にPTA共催によるプラネタリウム鑑賞を行いました。在校生と卒業生の保護者のご尽力で素敵な会になりました。PTAのご準備もありがとうございました。保護者の方もご参会いただき心癒やされる会となりました。3年生は入試が終わった3月に行う予定です。

■第4回学校運営協議会

今年度2回実施した学校評価（保護者、生徒、教員）と生徒による全教員の授業評価の結果を見ていただき、学校運営協議会の評価についてお願いしました。またIJ学級の劇も参観していただきました。会議の記録については、後日ホームページで公開いたします。



■受験生応援プロジェクト

毎年行っている、生徒会主催の3年生の進路決定を応援するプロジェクトです。1年生が様々な形のカードを切り2年生が応援のメッセージを書きました。そのあと生徒会が1枚1枚張り、1階の廊下に掲示しました。3年生ぜひ頑張ってください！



■生徒の活躍（敬称略）

- 令和5年度全国中学生人権作文コンテスト東京都大会 ○○（2-D）「バリアフリーな助け合い」
- ソフトテニス部 多摩東部新人大会 第三位 ○○・○○組
- 女子バレー部 大成カップ 第三位

【お詫び】学校便り第8号（12月号）の「第一回ひばり祭り」の記事に、育成会メタセコイアと谷戸小学校PTAが入っていませんでした。大変申し訳ありません。お詫びとともに以下のように訂正いたします。

「秋まつり実行委員会」（育成会ひばり、育成会メタセコイア、中原小学校施設開放運営協議会、中原小学校おやじの会、中原小学校PTA、谷戸小学校PTA、ひばり児童センター）が主催の秋まつりが行われました。

